

【 店 舗 名 】 における

事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ営業を継続するため、営業の場面に応じて発生するおそれがある感染リスクへの対応を別紙のとおり実行します。
経営者及び従業員はこの内容を理解し、状況に応じて修正します。

<施設概要> ※施設概要については、各事業者で記入してください。

店名	
所在地	
事業者名	
事業概要	
従業員数	全 人（通常の出勤人数 人）
営業時間	: ~ : 、 : ~ :
主な感染予防対策	

キャンプ場向けチェックリスト

引用「キャンプ場における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」

1. お客様への感染拡大予防対策

(1) 受付・宿泊

(お客様の体調確認)

- チェックイン時に、お客様の体調確認を行い、発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様は体調不良者用の部屋に案内する。
(体調確認方法) ※実施しているもの全てにチェック
 - 非接触型体温計を設置し、検温依頼 従業員が個別聞き取り
 - 健康チェックリストの提出依頼 その他 ()
- お客様に、宿泊中に体調不良となった場合は速やかに申し出るように依頼する。
- 体調不良のお客様は共用部分（大浴場や売店等）の利用を控えるよう依頼する。

(お客様のマスク着用)

- チェックイン時にお客様がマスク（不織布製を推奨。以下同じ。）を着用していることを確認し、施設内ではマスクを着用するよう要請する。（屋外で2メートルを確保できない場合は着用）

(配布用マスク)

- マスクを持っていないお客様に備えて、提供できるマスクを用意する。

(入口等での消毒)

- 出入口等に手指の消毒設備を設置し、入店時等にお客様に手指消毒を要請する。
(具体的な設置場所) ※実施している場所に1か所以上チェック
 - 出入口 受付 トイレ 炊事場 飲食スペース
 - 脱衣所 アトラクション その他 ()

(消毒設備の内容)

- アルコール消毒液（濃度60%～90%のものに限る）
(濃度: %) (商品名:)

(手続き待ちの密集回避)

- 受付で手続き待ちのお客様同士の人と人の距離（フィジカルディスタンス）を確保する。
※フィジカルディスタンス：1m以上間隔を確保
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - シール等で立ち位置を示す（お客様同士の距離：約1m以上）
 - 注意喚起の案内表示
 - 分散して待機の上、呼出し制
 - 複数箇所での手続き（場所： 別カウンター その他 ())
 - その他 ()

(団体客の受入)

- 団体客の場合は、代表者がまとめて手続きを行うよう要請する。
手続中は、他のお客様は分散してフィジカルディスタンスを確保して待機するよう要請する。

(受付時の飛沫対策)

- 受付でのお客様と従業員間の飛沫感染防止措置をする。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽（サイズ：人の頭より高い）
 - お客様と従業員のマスク着用徹底 その他 ()

(受付での対面時間の削減)

- 長時間の対面を避ける工夫を行う。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - オンライン決済
 - 説明事項の文書化
 - 手続き書類のHP等での事前公開
 - その他 ()

(支払)

- 支払い時の感染症対策をする。
(具体的な方法) ※実施するもの全てにチェック
 - キャッシュレス決済の導入 トレイによる受け渡し その他 ()

(お客様への連絡)

- 万が一の感染者発生に備えて、お客様への感染情報の周知方法を提示する。
(具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック
 - 連絡先の提出依頼（利用状況を1か月以上保管）
 - とっとり新型コロナ対策安心登録システムへの登録、掲示、案内
 - その他 ()

(団体客等への対応)

- 同居家族など通常接している方以外のグループ（団体、友人同士等）は原則としてテント等を分け
※ 通常接していないグループを同一テント等とする場合はお客様に同意を得た上で、お客様にテ
ント等での感染対策を要請して同一テント等とする。

(同一テント等について同意を得る方法)

- 同意書等の書面の受理 従業員が個別に聞き取り その他 ()

(同一テント等の際の感染対策) ※いずれも必須事項

- テント等内では食事や入浴時以外はマスク着用。
 トイレやドライヤー等の共有物を使用する前後では手洗いか手指消毒を行う。
 テント等内の定期的な換気を行う。

(換気方法: 換気扇常時稼動 窓開放 (頻度))

(お客様への案内時の対策)

- 施設内の案内について、感染対策を行う。

(具体的な方法)

- 文書や動画を用意して、対面での説明は行わない。
 お客様と従業員がマスク着用の上、フィジカルディスタンスを確保して説明する。
 その他 ()

(お客様が体調不良等の場合の対応)

- お客様から体調不良や陽性者との接触歴の申出があった場合（来店時・宿泊中）は、お客様の
同意を得た上で、以下の対応を行う。

- ①お客様からの体調不良（発熱、咳、咽頭痛等の症状）、接触歴の申出の受付
- ②感染対応責任者への報告（感染対応責任者)
- ③お客様を別室（有症者用の部屋）へ案内
- ④お客様のかかりつけ医等へ連絡
- ⑤かかりつけ医等の指示に従う

(サービス内容の変更・中止) ※中止していない場合はチェック不要

- 感染リスクの高いサービスは内容の変更や中止を行い、周知を行う。

(変更・中止したサービス)

- 喫煙場所 集客イベント その他 ()

(HP等での利用前案内喚起)

- お客様に以下の利用前の注意事項を周知する。

- ・出発前に体温測定をし、発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛等の症状がある場合は利用を控える
- ・緊急事態宣言地域や感染拡大地域等からの県境をまたぐ移動については、県からのメッセージ
等を確認し、慎重に判断する
- ・キャンプ場に向かう途中や帰宅途中の行程でもマスク着用・フィジカルディスタンスの確保・
手指消毒を徹底する。

(周知方法)

- HP 予約時案内 その他 ()

(注意喚起)

- 以下のような注意喚起を全て実施する。

※黒丸は必須

- | | | | |
|--------------------|------|----------------------------|-------------------------------|
| ・施設内で手洗い・手指消毒 | ● 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・施設内でのマスク着用 | ● 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・施設内で大声での会話は控える | ● 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・体調不良の場合は従業員まで申し出る | ● 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |

(2) 炊事場・シャワー場・その他施設

(炊事場での混雑緩和)

- 炊事場内に、一度に大人数が入室して密にならないようにする。

(具体的な方法)

- 予約制として入室人数を制限
- 混雑時は利用を控えるよう掲示 (利用上限人数 人)
- 従業員が混雑時は入室を控えるよう声かけ
- 利用時間の延長による分散利用 (利用時間)
- その他 ()

(炊事場内でのフィジカルディスタンスの確保)

- 炊事場内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- 調理スペースの一部使用禁止
- 調理スペース間をアクリル板等で遮蔽
- 間隔を空けて利用するよう掲示
- その他 ()

(飲食スペースでのフィジカルディスタンス)

- 飲食スペースでのテーブルにおいてフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- テーブル上にアクリル板等を設置して遮蔽。(サイズ:着席した人の頭より高い)
- 正面とならないよう、斜め掛けとなるよう椅子を配置する。
- その他 ()

(注意喚起)

- 炊事場及び飲食スペースにおける以下の注意喚起を全て実施する。

- | | | | | | | |
|----------------------|--------------------------|----|--------------------------|------|--------------------------|---------|
| ・炊事場内で手洗い・手指消毒 | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・食事中の会話の際や調理中もマスク着用 | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・大声での会話は控える | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・大人数での食事は控える | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・過度な飲酒は控える | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・乾杯はグラスが触れないように行う | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・お客様同士のお酌や回し飲みは避ける | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |
| ・トングや箸などの共有・使い回しはしない | <input type="checkbox"/> | 掲示 | <input type="checkbox"/> | 口頭案内 | <input type="checkbox"/> | その他 () |

(シャワー場内の混雑緩和)

- シャワー場や脱衣所内に、一度に大人数が入室して密にならないようにする。

(具体的な方法)

- 予約制として入室人数を制限
- 混雑時は利用を控えるよう掲示 (利用上限人数 人)
- 従業員が混雑時は入室を控えるよう声かけ
- その他 ()

(浴室等内でのフィジカルディスタンスの確保)

- 浴室や脱衣所内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- ロッカーや洗面所の一部使用禁止
- 間隔を空けて利用するよう掲示
- その他 ()

(アメニティ等の取扱い)

- 共用の物品(化粧品、ブラシ等)については、いずれかの対策を行う。

- 共用の物品は設置しない
- 共用の物品について感染対策を実施して設置する。

(具体的な感染対策)

- 化粧品は、脱衣所内に消毒用品を設置し、手が触れる部分を消毒してから使用するよう掲示して要請する。
- ブラシは使用者毎に消毒済みの物を使用できるように設置する。

- シャワー場や脱衣所内では会話は控えるよう掲示する。

2. 施設の管理

(換気)

- 管理棟等の共用エリアやシャワー場は定期的に窓を開けるなどにより、十分な換気をする。
※ドア・窓の開放の場合、換気の頻度は30分に1回、5分程度以上の開放が必要

(換気する場所及び方法) ※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る

- 管理棟
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 - その他 ()
 - 客室・常設テント (清掃時)
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 - その他 ()
 - 脱衣所
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 - その他 ()
 - シャワー場
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 - その他 ()
 - その他 ()
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 - その他 ()

- (換気扇がある場合) 換気扇を定期的に点検する。(頻度 に 回)

(拭き取り清掃・消毒) ※施設内にあるものは全てチェック

- 多くのお客様が触れる部分は定期的に拭き取り及び消毒液による消毒をする。
(共用エリアで消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入
- 受付 ()
 - ロビー椅子、テーブル ()
 - 入口ドアノブ ()
 - 共用トイレドアノブ ()
 - 炊事場蛇口 ()
 - ドライヤー ()
 - テント (返却の都度)
 - 寝具 (返却の都度)
 - その他 () ()
 - 筆記用具 ()
 - 廊下・階段の手すり ()
 - 自動販売機のボタン ()
 - 共用トイレ洗浄レバー ()
 - 炊事場調理器具 (返却の都度)
 - 化粧品 ()
- (具体的な消毒方法)
- アルコール消毒液 (濃度60%~90%)
 - 次亜塩素酸ナトリウム (濃度0.05%)
 - 界面活性剤含有の洗浄剤
 - 次亜塩素酸水 (厚生労働省が示す使用上の注意を遵守)
 - その他 ()

(その他施設)

- キャンプファイヤー等複数人が集まって行うイベントは、お客様同士のフィジカルディスタンスを確保する。(参加上限人数: 人)
- 備え付けアトラクションは使用人数を制限し、フィジカルディスタンスを確保できる設置にする。(使用上限人数: 人)

(ゴミ)

- 客室のごみを回収し、一時保管する場合は、ビニール袋に入れて密封保管する。
- ゴミ出しする者はマスクや手袋を着用し、作業後、必ず手洗いをします。
- ペーパータオルのゴミは、ゴミ箱に入れて密閉する。

(手洗い後)

- 共通のタオルを禁止し、以下のいずれかの対応を実施する。
 - ペーパータオルの設置
 - 個人のタオル等の使用
 - 定期的な清掃・消毒を行っているハンドドライヤーの使用 (清掃・消毒の頻度:)

(掲示)

- 以下のような注意喚起等の掲示をする。
- 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店のステッカー

3. 従業員の感染拡大予防対策

(従業員の体調管理)

- 出勤前に体温を計測させ、発熱(37.5度以上)や風邪症状(咳やのどの痛みなど)の症状がある場合は自宅待機とする。

(従業員の体調確認方法)

- 体調不良時の申し出制度
- 毎日の体調報告制度
- その他()

(就業制限)

- 感染した従業員や濃厚接触者として判断された従業員の就業を禁止する。

(マスク)

- 接客時などには、施設内では常時マスクを着用する。(食事等の必要最低限の機会を除く)

(手指消毒等)

- こまめな手洗い及び手指消毒により手指消毒を徹底しましょう。

(具体的な頻度)

- お客様やお客様の物に触れる前後
- 従業員間で共有する事務用品等を使用する前後
- 施設清掃の前後
- その他()

(消毒設備の内容)

- アルコール消毒液(濃度60%~90%のものに限る)
- (濃度: %)(商品名:)

(接客対応)

- 接客対応時に、直接対面で接客するときは、お客様の正面に立たないように注意し、可能な範囲でフィジカルディスタンスを確保する。

(清掃)

- 清掃やリネン回収を行う際は、マスクと手袋を着用する。
- 窓を開けて十分に換気してから清掃を行う

(従業員控室) ※いずれかにチェック

- 従業員用の控室(事務室・休憩スペース・更衣室)はない。
 - 控室がある場合は、以下のような対応を実施する。
 - マスク着用、一度に使用する人数制限、対面での食事や会話を避ける。(一度の使用人数)
 - 従業員同士のフィジカルディスタンスを確保
 - 常時換気を行う。(換気方法)
 - 共用する物品を定期的に消毒する。
 - (共有する物品: ○ 机 ○ 椅子 ○ ポット ○ ドアノブ
 - その他())
- (消毒頻度:)
- (消毒液: 成分 濃度)

(ユニフォーム)

- 従業員のユニフォームは当該日業務終了後など定期的に洗濯する。
- 定期的な洗濯の頻度(例:業務終了後に毎回)()

(感染予防対策の共有)

- 事業者が実施する感染予防対策について、従業員に周知し実行する。
- (具体的な方法:)

4. 食事提供施設での感染拡大予防対策

(1) 来店・受付・会計

(来店待ちの密集回避)

- 来店待ちにより列が発生する場合は、来店者同士の人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保する。
（具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ シール等で立ち位置を示す（お客様同士の距離：約1m以上） ○ 注意喚起の案内表示
○ 整理券発行による呼出し制 ○ その他（ ）

(混雑の緩和)

- 会場での混雑を緩和し、フィジカルディスタンスを確保する。
（具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ 会場を分散する
○ 利用時間を延長する
○ 予約制として、入場時間を分散する
○ その他（ ）

(会計)

- 会計の際の飛沫感染防止措置をする。
（具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽（サイズ：人の頭より高い）
○ お客様と従業員のマスク着用徹底 ○ その他（ ）
- 会計待ちにより列が発生する場合はフィジカルディスタンスを確保する。（テイクアウトを含む）
（具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ シール等で立ち位置を示す ○ 注意喚起の案内表示 ○ 席会計
○ その他（ ）

(支払)

- 支払い時の感染症対策をする。
（具体的な方法） ※実施するもの全てにチェック
○ キャッシュレス決済の導入 ○ トレイによる受け渡し ○ その他（ ）

(注意喚起)

- 以下のような注意喚起を全て実施する。
- ・ 食事中も会話する際はマスクの着用 ○ 掲示 ○ 口頭案内 ○ その他（ ）
 - ・ 入店時、トイレ使用時の手洗い・手指消毒 ○ 掲示 ○ 口頭案内 ○ その他（ ）

(2) 案内・食事

(客室での食事提供)

- 客室への料理提供は、一度に料理を提供して従業員の入室回数を減らす。

(大人数での宴会・会食等の自粛)

- 大人数での宴会・会食等は当面控える。

(グループ間の対人距離)

- グループ間の対人距離を確保する。
（具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ グループごとの個室で対応する。
○ グループの間隔を空けて、1m以上確保できるように配置する。
○ テーブル間をアクリル板、透明ビニールカーテン、パーティション等で遮蔽する。
○ その他（ ）

(テーブル席でのフィジカルディスタンス) ※個室・座敷を含む

- テーブル席においてフィジカルディスタンスを確保する。
※同居家族等の生活を共にするグループの場合は確保は必須ではありません。
（友人・同僚等の同一グループであっても生活を共にしていない場合は必須）
※生活を共にするグループである確認（フィジカルディスタンスを確保しない場合）
○ 来店時に従業員が個別聞き取り ○ 予約時に個別聞き取り
○ その他（ ）
- （具体的な方法） ※実施しているものにチェック
○ 正面とにならないよう、斜め掛けとなるよう席を案内する。
○ テーブル上にアクリル板等を設置して遮蔽。（サイズ：着席した人の頭より高い）
○ その他（ ）

(カウンター席でのフィジカルディスタンス)

- カウンター席においてフィジカルディスタンスを確保する。

※同居家族等の生活を共にするグループの場合は確保は必須ではありません。

(友人・同僚等の同一グループであっても生活を共にしていない場合は必須)

※生活を共にするグループである確認(フィジカルディスタンスを確保しない場合)

- 来店時に従業員が個別聞き取り 予約時に個別聞き取り
 その他()

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- 隣り合う席の使用を中止する等で、席の間隔を1m以上確保できるよう配置する。
 隣の席との間にアクリル板等を設置して遮蔽する。(サイズ:人の頭より高い)
 その他()

(サービス内容の変更・中止) ※該当がない場合はチェック不要

- 感染リスクの高いサービスは内容の変更や中止を行い、周知を行う。

(変更・中止したサービス)

()

(大皿・ビュッフェ方式への対応)

- 大皿での提供やビュッフェ方式の提供

- 対策を行って提供する。(提供しているもの 大皿 ビュッフェ方式)
 提供はしていない。

(大皿(1皿を複数人が分ける場合を含む)提供時の具体的な方法)

- お客様1名ずつ取り箸を用意し、箸を共有しないよう要請して提供する。
 小皿に盛って提供する。
 従業員が取り分ける。
 トング、箸等を共用する場合は、手指の消毒を徹底する。
 その他()

(ビュッフェ方式提供時の具体的な方法)

- あらかじめ小皿に盛り付けて提供する。(お客様は小皿をとるのみ)
 従業員が取り分ける。
 お客様に使い捨てビニール手袋を着用いただき、手指やトングの消毒を徹底する。
 トング、箸等を共用する場合は、手指の消毒を徹底する。
 その他()

(箸や取り皿の提供)

- 箸・取り皿・爪楊枝・灰皿等については他のお客様が触れないよう対策する。

(具体的な方法)

- 注文後に個別に提供する。 1つずつとれる容器や設置方法で提供する。
 グループごとに事前に設置する。
 その他()

(注意喚起)

- 以下のような注意喚起を全て実施する。

- | | | | |
|------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| ・食事中も会話する際はマスクの着用 | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ・乾杯はグラスが触れないように行う | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ・お客様同士のお酌やグラスの回し飲みは避ける | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ・過度の飲酒は避ける | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ・大声での会話を避ける | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |
| ・スプーンや箸などの共有・使い回しはしない | <input type="checkbox"/> 掲示 | <input type="checkbox"/> 口頭案内 | <input type="checkbox"/> その他() |

(3) 飲食施設の管理

(換気)

- 開店前、営業中、営業後に網戸のある窓を開けるなど、客席及び厨房の十分な換気をする。
 ※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る
 (開店前・後の換気方法) ※実施しているもの全てにチェック
 店内の入口・ドア・窓を開放 (開放箇所)
 換気扇を稼動 (換気扇台数 客席 台、 厨房 台)
 サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 客席 台、 厨房 台)
 その他 ()
 (営業中の換気方法)
 ※実施しているもの全てにチェック (換気量を満たさない場合は、窓等の開放による換気が必要)
 換気扇により換気 (換気量は店舗内の滞在人数 (従業員含む) 1人につき毎時30m³以上を確保)
 ・店舗内の換気扇の換気量の合計 (m³/時間) ÷ 店舗内滞在人数 (人) = ()
 店舗内の換気扇の換気量の合計は、下記の表で計算してください。
 換気量 (排気) が十分でも給気は重要です。定期的に窓を開けるなど換気を行いましょう。
 換気量 (1人あたり毎時30m³) は、建築物衛生法 (ビル管理法) の考え方に基づく必要換気量。
 店内のドア・窓を開放
 ・開放箇所 ()、開放頻度 分に 回 / 常時)
 ・開放場所の網戸の有無 有 ・ 無 (網戸の設置は必須ではないが、設置が望ましい)
 換気の頻度は30分に1回、5分程度の開放が必要

<店舗内の換気扇の換気量>

- ・店舗内の換気扇の換気量の合計は下記の表に記載して計算してください。
- ・換気扇の換気量は、製品の取扱説明書等に記載があります。不明な場合は設置業者等に確認、型番等をインターネットで検索することで確認することができます。(不明な場合はご相談ください)
- ・換気扇の型番等が不明の場合は、換気風量を測定しますので、ご相談ください。

設置場所	換気扇型番	換気量 (m ³ /時間)	台数	計
客席				
厨房				
トイレ				
合計				

- (換気扇がある場合) 換気扇を定期的に点検する。
 頻度 (に 回)

(拭き取り清掃・消毒)

- 多くのお客様が触れる部分は定期的に拭き取り及び消毒液による消毒をする。
 (お客様が入れ替わる都度、消毒する箇所)
 テーブル 椅子 メニュー表 調味料 タッチパネル 呼出しボタン
 券売機 ドリンクバーのボタン その他
 ※券売機やドリンクバーを使用する場合であって、お客様1名ごとに消毒が困難な場合：
 機器横にアルコール消毒液を設置し、お客様に使用前後で手指消毒を行うよう要請する。
 ※食器・箸等の容器器具は一般的な洗浄を徹底 (消毒までは不要)
 (定期的に消毒する箇所) (頻度 に 回) ※店内にあるもの全てにチェック
 ドアノブ レジ 手すり トイレドアノブ 洗浄レバー
 エレベーターのボタン パーティション その他

5. その他施設ごとに感染拡大予防対策

(施設の業態に応じた感染拡大対策)

(自由記載)

【例】

- ・ 集客イベント時の対策
- ・ 売店の対策